



2019年3月29日
東京地下鉄株式会社
東日本旅客鉄道株式会社

東京メトロ×JR東日本共同プロジェクト

「TOKYO SPORTS STATION」の第7シリーズが始まります！！

東京地下鉄株式会社(代表取締役社長：山村明義、以下「東京メトロ」)と東日本旅客鉄道株式会社(代表取締役社長：深澤祐二、以下「JR東日本」)は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会(以下「東京2020大会」)のオフィシャルパートナー(旅客鉄道輸送サービス)として、東京2020大会の各競技の見どころ・観戦ポイントを紹介する「TOKYO SPORTS STATION」の第7シリーズを開始いたしますのでお知らせいたします。

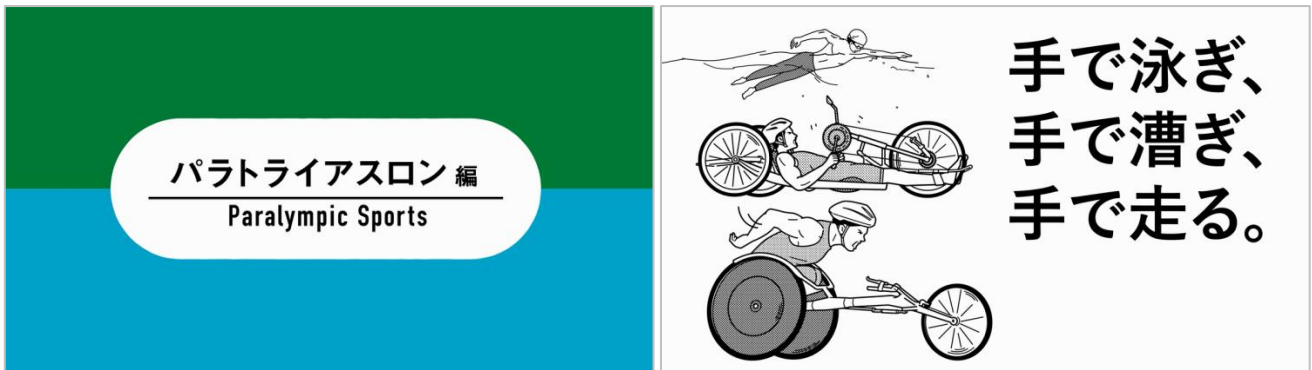
「TOKYO SPORTS STATION」は電車内のビジョンを中心に放映するほか、特設YouTubeチャンネルにてこれまでの放映分も含めてご覧いただけます。

皆さまの移動時間を更に楽しんでいただけるものとなっておりますので、ぜひご覧ください！


- | | |
|--------------|--|
| 1 主 催 | 東京メトロ、JR 東日本 |
| 2 概 要 | 「TOKYO SPORTS STATION」第7シリーズ：2019年4月1日(月)～ |
| 3 第7シリーズ紹介競技 | #25 パラトライアスロン
#26 トライアスロン
#27 車いすテニス
#28 ラグビー
#29 近代五種
#30 カヌー |
| 4 動 画 展 開 | 東京メトロ：Tokyo Metro Vision
JR 東 日 本：トレインチャンネル
※特設 YouTube チャンネル
https://www.youtube.com/c/TOKYOSPORTSSTATION
からもご覧いただけます。(2019年4月1日(月) 14:00以降順次公開) |
| 5 ポスター展開 | 東京メトロ、JR 東日本の電車内にポスター掲出 |

■ 「TOKYO SPORTS STATION」競技紹介（#25 パラトライアスロン）

・動画




・ポスター



Tokyo 2020に
乗り遅れないための

TOKYO SPORTS STATION #25

パラトライアスロン編
Paralympic Sports



YouTubeで
最新も先睹中!

**手で泳ぎ、
手で漕ぎ、
手で走る。**

【座位クラス】
両足に障がいのある選手が参加する「座位クラス」は、スイム・バイク・ランのすべてを、手の力だけで走破します。鍛え上げられた選手たちの筋力は、まさに超人的。レース終盤、手に力が入らなくなるほどの極限状態の中で繰り広げられる熾烈な順位争いは、圧巻の一言です。

**体幹の強さが、
勝負強さ。**






【立位クラス】
腕や足に障がいのある選手が参加する「立位クラス」。3種目を戦う上では、わずかな重心のブレが疲労やタイムロスにつながります。障がいによってバランスが取りにくい選手は、体幹を極限まで鍛えることで、長いレースを戦い抜く力強いフォームを手に入れているのです。

**ガイドロープが、
絆になる。**

【視覚障がいクラス】
“選手の間”となるガイド(伴走者)と視覚障がいクラス。計25.75km、息を合わせ続けるために、選手とガイドは過酷な練習を共にし、信頼関係を築きます。最終種目「ラン」では、極限状態の中、1本のガイドロープで結ばれた2人がゴールする姿に、拍手と大歓声が湧き起ります。

【パラトライアスロンとは?】
スイム0.75km、バイク20km、ラン5kmの計25.75kmのコースで、合計タイムを争う競技です。車いすを使用する座位クラス(PTWC)、腕や足に障がいのある選手の立位クラス(PTS2~5)、ガイド1名と競技を行う視覚障がいクラス(PTVI)の大きく3クラスに分かれて順位を競います。

【競技会場】
お台場海浜公園
(2019年3月現在の情報です)

東京2020オフィシャルパートナー(旅客鉄道輸送サービス)



東京2020オフィシャルパートナー(旅客鉄道輸送サービス)